

政務調査研究視察 報告書

視 察 日	平成23年 10 月 6 日(木)
視 察 先	東京都墨田区役所
視 察 内 容	東京スカイツリー建設に伴う、景観ルールについて
視 察 者	中根 勝美

東京都墨田区

1 墨田区の概要

人口は、約 25 万人 面積 1375km²。北部は金属加工業より発展し、昔は向島と呼ばれ、南部は繊維加工業により発展し昔は本所と呼ばれた。 押上・業平橋地区に「東京スカイツリー」を建設中。

平成24年2月竣工。平成24年5月22日グランドオープンの予定。同地区は東京東部地域的一大観光拠点として国内外よりの来客を見込み、再整備中である。東京スカイツリーの南側地域に住民と共同し、景観ルールを策定した。



2 墨田区まちづくり

- ・ 面談者 拠点整備課長 橋本 正一
 " 主事 安里 寛紀
 " 主査 椎名 康明
 (議会事務局主査 長山 喜枝)

- ・ まちづくりの歩み
 - 平成16年10月 まちづくり条例制定
 まちづくり協議会設立
 - 平成17年3月 都市計画決定(区画整理、駅前広場街路)
 - 平成17年12月 土地区画整理組合設立認可)
 - 平成18年3月 新タワー建設地に墨田区業平橋・押上地区に決定
 - 平成19年8月 新タワー建設着工、名称 東京スカイツリー
 - 平成20年3月 都市計画決定(容積率変更、地区計画追加決定)
 - 平成 21 年11月 墨田区景観計画施行

- ・ 土地区画整理事業
 - 押上・業平橋周辺地区土地区画整理事業組合設立
 - ・面積 6.4ha
 - ・期間 平成17年度～24年度
 - ・総事業費 100 億円(国・都で補助 85 億円)
 - ・減歩率 29%(15 億円捻出)
 - ・事務局 VR 都市再生機構
 - ※墨田区は周辺道路取付け等で100億円支出予定

- ・ 地区計画変更
 押上・業平橋周辺地区については、東京スカイツリーを活かした区内各所への観光の入口として、また防災拠点として次のゾーンに区分し、都市計画決定をし土地利用をする。
 - ①新タワーゾーン
 東京スカイツリーのシンボル性を活かした観光・防災機能の強化をする。
 下町文化と都市文化の融合した新文化を発信する商業・業務地区の形成ゾーン。
 - ②機能再生ゾーン
 土地高度利用促進し総合的な整備を行い災害に強いまちづくりゾーン
 - ③にぎわいゾーン
 新タワーと浅草につながる地域の商店街は観光交流施設の誘導ゾーン
 - ④水と緑ゾーン
 北十間川を舟運可能な河川として整備。水と緑の潤いある景観形成ゾーン
 ②～④は新たな地区計画設定をした。

- ・ 景観計画について
 平成21年11月制定の景観計画は墨田区全域の景観基本計画策定に向けた先行的位置づけである。押上・業平橋駅周辺土地区画整理事業施行区域を中心として、地区計画で 35.2ha を四つのゾーンに区分し景観策定エリアとした。建築物高さ制限、広告禁止箇所、建築物の配置方法、騒音対策、性風俗店、ラブホテル禁止ゾーン別に策定した。今後住民説明を通じ、法的規制の検討を進める。

(その他)

墨田区産業都市委員会(委員8名)は平成23年10月6日に岡崎市役所に都市計画マスタープラン事業についての行政調査を実施された。


【感想・岡崎市への反映】

東日本大震災後は町づくりに災害対応が強く考慮されるようになってきた。墨田区においても高層建築物、親水等に関しても強く防災減災の対応を根底に置いている。

本市も引き続き「安心安全な町づくり」の必要性を感じた。

また、景観ルールについては私権の制限になることであり、住民との対話とルールづくりのコンセプト説明の重要性を感じた。

本市も景観計画(案)につき、本年9月6日より1ヶ月間パブリックコメントを行ったが、十分な意見申し出がなかった。今後はアカウントビリティを意識し計画推進をすべきと思っている。

視 察 日	平成23年 10月 7日(金)
視 察 先	東京都江東区
視 察 内 容	第38回国際福祉機器展
視 察 者	中根 勝美
東 京 都 江 東 区	<p style="text-align: center;">第 38 回国際福祉機器展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の展示は13カ国1地域より510社・団体の出展。 福祉機器は 20,000 点を展示。 ・ 障がい補てん機器の展示が多かった。特に車両部門は出展も多く、参観者数も多かった。 主要自動車メーカーは全て出展した。 ・ 障がい者自身の参加も多く、展示会場は車椅子が多く見られた。 ・ 同時開催の福祉施設役職員スキルアップ講座の内容は、災害に備える方法、避難所の生活改善等もあり、想定外対応も検討され出した。 ・ 会場内撮影禁止のため、できる限りのパンフレットを受け取ったので今後の検討資料にしたい。 
	<p>【感想・岡崎市への反映】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者障がい者並びに介助者の移動に対する要望の多さが感じられた。 ・ 岡崎市福祉会館に最新福祉機器情報コーナーのようなものが必要と思った。 ・ 高齢者障がい者のことを考えると近隣でこのような展示会開催の必要性を感じた。